

## 7th International Symposium on Transformative Bio-Molecules – in memory of Koji Nakanishi- & 第15回平田アワード・第5回岡崎令治・恒子賞

開催期間：2019年12月13日

開催場所：坂田・平田ホール（理学南館）

主催者：トランスフォーマティブ生命分子研究所（WPI-ITbM）

共催：平田先生追悼記念事業会、Tsuneko & Reiji Okazaki Award 委員会、理学研究科、GTR

協賛：日本化学会、日本薬学会、有機合成化学協会、日本植物生理学会、日本細胞生物学会、日本分子生物学会、日本質量分析学会、日本時間生物学会、日本生物物理学会、日本生化学会

後援：日本ケミカルバイオロジー学会、日本農芸化学会

参加人数：300名

### 【活動報告】

ITbM の年次国際シンポジウムを開催した。松尾総長のあいさつに続き、上村大輔名誉教授（現・神奈川大学特別招聘教授）から本年3月に他界された中西香爾本学特別教授の紹介、伊丹健一郎教授（ITbM 拠点長）から ITbM の紹介、引き続き招待講演としてウエリ・グロスニクラウス教授（チューリヒ大学）、ゴン・シェン教授（南海大学）、ヴィ・ドン教授（カリフォルニア大学アーバイン校）に講演いただいた。

また有機化学の分野で活躍する若手を表彰する平田アワードと、生物学の世界のライジングスターを表彰する岡崎令治・恒子賞を併催した。本年の平田アワードには、可視光レドックス触媒とニッケル触媒を協働させる画期的クロスカップリング反応を達成したアビゲイル・ドイル教授（プリンストン大学）が、岡崎令治・恒子賞には光遺伝学を駆使した怒り、やる気といった感情の神経回路の研究で極めて優れた業績をあげたケイ・タイ教授（ソーク研究所）が選ばれ、記念品の盾が上村教授、岡崎恒子本学特別教授から授与された。国内外から 300 名近くの参加者を集め、活気溢れるシンポジウムとなった。

